

波紋

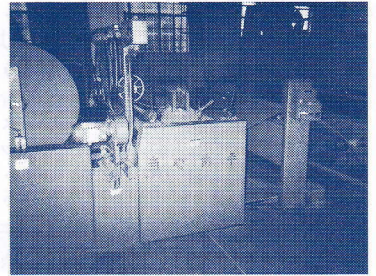
PUBLISHER: 森松株式会社
 平成12年 3 MAR. No. 177 EDITOR: 服部高久

初めての中国上海

2/21～2/28まで、生まれて初めて中国上海に行ってきました。

主目的は、ポリエチレン袋の製袋工場・不織布工場の視察ですが、実は、個人的に興味があったのは、華僑同士の合弁企業交渉立会いでした。

雑談で前回までの交渉内容を復習し、交渉当事者以外にも2名（立会人と伝達係）がテーブルにつき、あとの関係者は別室に控えます。その伝達のやり取り、交渉後の全員を集めての内容確認大演説、確認書面の作成など、日本のそれとはかなり異質です。時間も食事以外に3時間は平気です。言葉は全くわかりませんが、しかしその雰囲気はとてもワクワクするものでした。



上海の不織布工場

また大寒波の雪にもあい、大都会上海の交通機関の大混乱も体験することができました。そんな大混雑の中、寧波まで4時間かかって列車で行きました。新幹線での出張と違い、窓の外をゆっくり流れる景色は、



寧波石浦の中心街

なかなか良いものです。寧波も開発が進みつつあり、外資を入りたいと躍起のようです。水産加工品の町、石浦では「日本の会社と合弁したい」という水産加工の国営公司の人が、なぜか待ち構えていました。最新設備をいれたいが、何をいれたら何ができるのか、さっぱり情報がないと嘆いていました。（水産加工品にお詳しい方、助けてください。）

酒はさっぱりダメでも雑食性の私は、食事では苦しみませんでした。「いただきます」と合掌し、大げさにやったら「何それ？」と聞かれ、全てへの感謝の気持ちの表現だと教えてやりました。「食べることは楽しむこと」と考えている彼らには、少しは新鮮だったようです。



西口悦史

よい面も悪い面も含めて、「人とその人間関係」だけがすべてを取り仕切っている印象の上海でした。

『リストラと家族』

日本中の人々がお金を使わなくなった。使えなくなった人も多くいるが。使わないから、よけいに景気は悪くなる。縮み指向が強くなり働いている。東京都内にある銀行が、ピーク時2000億円程納めていた税金が、現在は34億円位しか納税していないそうで、巨大な東京都の財政は急速に悪化し、石原知事も困っているような……。どこの地方公共団体も同様な状況でしょう。収入の低下が招く事実が、いろいろな局面に現れてきた。国にも会社にも、家庭にも。お金がパワーを持ちすぎて家族をバラバラにしたり、富が人々を不幸にしたり、人間関係をズタズタにしたりした。

しかし、今年の正月用品の売上が過去最高だったという。鍋物が静かなブームを呼び、家庭料理、ホームパーティーが以前になく盛り上がっている。そういえば、この連休中、娘が熱心にチョコクッキーやパンを作っていたなあ。私への支給分はほんの一カケラで、大部分は親父以外の男へ回るような……。配達日は14日(月)。

私の同級生も失業して、奥さんと一緒にスーパーへ行ったり、掃除したり、食器を洗ったり、結婚して初めてやりました、と話してくれました。奥さんは喜んでおり、もう半年くらい、こんな生活を続けたいと願っているそう……。家族と一緒に食事が出来、誰もが協力しあう時代も続いて欲しい気もする。

森 信之

モーリンワールド

『インターネット』

インターネット、ネットビジネスという言葉を見聞きしない日がないくらい、インターネットが生活の中に入り込んできています。

携帯電話でインターネットを利用している携帯ネット人口は500万人に達するそうですし、日本のインターネット利用者は人口の三分の一にも達する勢いとのことです（私もPCと携帯電話でインターネットを利用して一人です）。

インターネットで株の売買、航空券等のチケットの予約・購入、レジャー情報などいろいろなことが出来るし、情報の入手が容易に出来るようになりました。

この豊富な情報を活用することにより、より良い暮らしやビジネスチャンスをつかむ事もできると思います。

アメリカでは、パソコン、インターネットを所有し利用する技術を持っているかいないかで所得格差が生じているようであり、日本にもその傾向がみられるようである。

森松の社員は全員家にPCがあるのでですから、活用して豊かな暮らしができるように頑

張りましょう（段ボール箱の家には住みたくないですね）。



岩間正美

喜怒哀楽

『意味ないじゃーん』

春が近づくにつれまた花粉の季節がきました。今年は、去年の倍くらいの花粉が飛ぶとのこと。私も昨年仲間入りをしてしまいました。

毎日鼻水が止まらず病院に行ったところ検査で、先生からスギですねといわれ、えースギ？ あー花粉症か、という具合です。

私をはじめて花粉症という言葉聞いたのは、10何年前ぐらいか、プロ野球選手が春先は花粉症で成績が悪いとか言う話を聞いたのが初めてだと記憶しています。プロ選手が花粉症ごときで成績が悪くなるなんて情けないと、馬鹿にしていたのですが。私の場合は仕事には問題ありませんので心配なく。しかし、これが結構つらいものでやはり自分の身に降りかかってみないと人の痛みはわからないものだど痛感しています。

また、話は変わりますが環境問題で塩ビを燃やすとダイオキシンが出ると悪者扱いされオレフィン、オレフィンともてはやされていますが、北極か南極かの温暖化により氷が溶け始めているとかテレビ等でよく聞きますが、オレフィンを燃やすと塩ビの倍以上の二酸化炭素が出るそうです。うーん 意味ないじゃーん。また、塩ビほどリサイクル性のよいものはないのに、なぜ、リサイクルしにくいオレフィンなんだろう、うーん 意味ないじゃーん。まあ、氷が溶けて水にならないとわからないのかな。人間て、うーん 鼻が痒い。



吉岡孝記

暮らしの王ツセイ

『熱帯魚』

波紋1月号に熱帯魚の記事が載っていましたが、私の家でも熱帯魚を飼っています。

最初にグッピー

20匹、ハゼ1匹

いましたが、グッピーは半年ぐらいで全滅してしまいました。何故かハゼは、年々大きくなり5〜6センチだったのが12〜13センチまで大きくなり、4年目で大往生してしまいました。4年も付き合っていると愛着がわき、浮かんでいるのを見たときは、ショックでした。

掃除をしていて水槽が割れてしまい、慌てて変わりの水槽を買いに行つて、何とかハゼだけ生き残った事がありました。

今、新しいハゼがいますが、眺めていると水槽を割つたあの日の事を思い出してしまいます。



松井宣和



読書感想文

《自分を深く掘る「仕事術」》 ～ 鷲田 小彌太 著 ～

- ③ 人間術 …… 「いい仕事をする人は、その人と仕事とを前へ前へ押し出す人々がいる」私は、仕事をしていく上で出会いを大切にします。そう考えていると、本当に素敵な出会いが有ります。またあの人は今どうしているのかを考えていると、不思議と先方から連絡が来たりとか、心に止めて置くことで色々産まれるような気がします。著者の言う恩義を大切に、さてその後恩返しになにをするか、返していく年齢に来たと思います。そうしないと次が産まれないような気がします。「わかっているんだけど」実行が出来ない。
- ④ 消費術 …… 「人間は生きる、消費するために仕事を、生産活動をしなければならない。」消費しないと出会いが産まれない事もある。そして、酒を買って飲まない次に進め無いこともある。著者は、酒を飲んでいなかったら何件の家が立っていたかと記しているが私も思う。何回も酒をやめたら欲しい車を買えたと思った事がある。「わかっているんだけど」酒はエネルギー、やめられません。
- ⑤ 空間術
- ⑥ 家族術 …… 少々この2点は、現在の私の境遇には似ているところがあるし2点とも同内容に思えるので、一緒にしました。著者は、空間術で「仕事の達人は、仕事場を選ばない」と記しているが、家族術で「家族から遮断された仕事場を持つ」と記していたり矛盾している部分がある。私もわからないが、家庭と仕事場が同じ場合、欠点は、家(仕事場)に帰るとどうしても家庭である。子供がお帰りと迎え、遊んでくれと言われる。良い点は、そのために朝が大事にできる。通勤時間がないからだらだらするのではなく、朝誰よりも早く起きて仕事に集中できる。そうしないと時間が無いと言う観点になれる。それに私は、朝型だから良いかも知れない。帰って夜にでも日報も入れるべき、「わかっているんだけど」…今年頑張るやろう。

To be continued… 黒松 康郎

「気がきく人 気がきかない人」 ～ 山形 琢也 著 ～

私もモリマツに入社して以来、こういった傾向の本を読む機会が今までよりかなり多くなりました。どの本も最後には自分の気の持ち方ひとつでどうにでもなる、そして将来の人生には必ず役に立つことだと書いてあります。

自分の事を冷静に分析してみると、やはりまだ当然気がつかないといけない事にも気がつかず、後で気づきぞっとすることが多くあります。このままではいけないと常々思ってはいてもなかなか実行できていません。

私も気がきかない人のままで終わらないよう、何事にも注意深く行動して進歩して行きたいと、この本を読み深く思いました。

坂 幸広

上海的生活

今回学校が休みということもあり、日本へ帰国することができました。日本での生活は当然ながら半分学生の上海の生活とは変わって忙しく、反面得るもの、勉強になるものはたくさんあります。そこで今年はこの上海での生活を日本のようにより充実させたものにしたと思います。

今月で中国での生活を始めてちょうど一年という事もあり、ふとした時に中国での影響が生活の細かな部分で現れてきます。これを今更けと挙げてみます。

・ポケットティッシュを必ず持ち歩くようになる。

・ジュースよりもお茶をよく飲む。

・人見知りしなくなる。

・寒いところでも平気になる。

・タクシーをすぐに使いたくなる。

ここまででも、こちらでの生活がどのようなものか少し想像がつくと思いますが、さらに、

・道行く人の顔が時に中国人に見えてくる。という事まで起こります。これが中国に行ったらすべてに当てはまると思いませんが、これはやはり日本人は海の向こうから渡ってきた人たちなんだという事を感じます。かといって

知らない人に中国語で話しかけたりはしませんが…。



森 直樹

2000年3月の行事予定

30日(木)	27日(月)	25日(土)	//	22日(水)	21日(火)	//	20日(月)	//	16日(木)	15日(水)	14日(火)	//	12日(日)	11日(土)	6日(月)	4日(土)	1日(水)
久保田さん誕生日	西口さん誕生日	第四土曜日休み	営業会議 16時30分〜	経営会議 15時10分〜	生産会議 17時40分〜	森(直)さん誕生日	春分の日	編集会議 17時50分〜	改善会議 18時〜	西田さん誕生日	誕生会	成瀬さん誕生日	松井(宣)さん誕生日	第二土曜日休み	坂井田さん誕生日	第一土曜日休み	中国情報会 18時〜

永年会～第2回ボーリング大会

第2回 永年会ボーリング大会（年1回）を、平成12年1月22日(土)、ロイヤルボウル名古屋にて17時15分ゲームスタート、33名参加（社員・パートさん・特別ゲスト）により、激しい賞金争奪戦となりました。

今回は、賞金を上位のみではなく、全体にばらまいて多くの方に賞金が入るようにしましたが、運悪く賞金が手に入らなかった方は、運が悪い人です？（次回、頑張ってください！）又、ゲーム終了後、1Fのレストランにて、少々アルコールと軽食にて反省会？をしながら、ワイワイとおしゃべり（前向きな仕事の話）をして、ボーリング大会も幕を閉じました。

（上位入賞者） 優勝：光田さん 2位：坪井さん 3位：村田

*優勝候補の岩間さんは、17位と期待を裏切り（実力発揮か？）、3位の私は、幹事ですので少し遠慮して3位（予定通り？）、2位の坪井さんは、やはり、お上手です。

優勝の岩のり(光田)さんは、上機嫌で優勝賞金（7000万円）を手に入れました。

次回のボーリング大会は、岩のり(光田)さんに勝ちます！

絶対に負けないぞ！



村田 恒夫

編集後記

2000年が来たと思ったらもう2月も終わろうとしています。

社内では、相変わらず慌ただしい日々を過ごしながらも、今年に入ってからの振り返ると、新年会やボーリング大会、スキーツアーがあったり、期待の新人中村さんとベテラン新人近藤さんが登場したり、雪が降ったりと、身の回りではそれなりにいろんな出来事や変化があります。

私自身、最近の大きな変化は、「夜型人間」から「やや朝型人間」に変身したことです。約30分くらい今までより早寝早起きになったただけなので「やや」ですが、自分の中では「大変身。」と思っています。理想は朝の鶴舞公園で軽く大極拳してから出社することです。それはともかく、「朝型人間」を持続するように3月からもがんばります。



小沢由紀子